

村長の日記

4月2日（月）

平成30年度が始まる。年度初めの訓示をやれと言われたが、私としては幹部職員へのお願いと思って話した。

千早赤阪村は、昔から超保守的な村であり住民は何もしない、守り中心の生活が美德の村でした。

村は今、庁舎の新築、こども園の用地がようやく決まり、事業が進み始めました。これが村改革ツールの1つになればいいと思う。

私たち行政の役割は、成功例を住民に示すことから始めるべきだ。村では、住民が自信を持てるような成功例はなかった。3月8日開店予定の道の駅暫定オープンを必ず成功させることで、自分の道は自分で切り開く習慣を自覚してほしい。

- 人口増加問題

空き家対策はなかなか前に進まない。住民の保守志向が邪魔しているのだろう。今年からNOTE（一般社団法人ノオト）の皆さんにも助けをもらうことで前進させるとともに、村の新しい住宅開発を考える。

道路事情が悪い、鉄道がない、バスの便が少ない、コンビニが無い。不利な面は多いが、土地が安い、自然が多い、静かだ、水空気がうまい。田舎生活をうまく提案すれば可能だ。

- 交流人口増、インバウンド取り込み

高尾山は日本一登山客の多い山だ。私の学生時代、高尾山は今の金剛山と同じようだった。しかし今は登山道の至る所にお店が出来て、日本一登山客の多いに相応しく、賑わっている。金剛山にはロープウェイがある、素晴らしい眺望が開けている、高尾山に追い付き追い越そう。北朝鮮にある金剛山(クムガンサン)に憧れ、金剛登山をする韓国人の人が多い、インバウンドに結び付けよう。

村には楠公さんがある、歴史がある。28年には産経新聞で1年間「公を忘れた日本人」で宣伝してもらった。今NHK大河ドラマ放映の運動を始めている。楠公さんにまつわる史跡が多い、歴史をテーマの交流人口増も観光のメインだ。

- 住民の高齢化

高齢化率が50%を超えた地域が増えている。1番大きな小吹台が50%を超えた。千早地区がやはり50%アップで第1位。

医療、介護、福祉は今かなりうまくいっている。国保診療所は再スタートとなった。村に医者が来てくれないのは皆さんも知っての通り。

去年は診療所が具合悪いとうわさが流れた。今日参列の皆さんにお願いする、村の診療所は良いとうわさを流してほしい。世論形成だ。

去年は世論形成で負けたと思う。ぜひいいドクターだとうわさをお願いする。

- 災害復旧と道路

村長の日記

昨年の災害復旧はこれからだが、村はこれからも多くの問題を抱えている。村の南北の道路は富田林五條線を除いてできているが、東西の道路は農免道路を除いて十分ではない。村道の整備を考えてほしい。

夢は富田林五條線金剛トンネルだ。粘り強く事業化を陳情して行く。20年後、30年後の開通を念じて頑張ろう。

- 農業、林業

収益の上がらない米に変わって、イチゴがいいところまできた。1個400円、村1面イチゴ、イチゴ、日本1大くないちごの村。森林環境税はあまり村には効果がないが、50年先、80年先に文化財の補修にはぜひ千早の文化材を。いい木を育てるために間伐補助の充実を。

- 土地利用

土地問題になると住民はフリーズする。土地は利用をうまくすればいい結果が出る。やはりいい成功例が必要、いい成功例を作ろう。

- ハード優先行政からソフト優先へ

村は従来ハードから入ってきた、しかしソフトが伴わず、1年に十数日しか使用しない くすのきホール が出来上がった。手始めに、年間の3分の1(100日以上)は使える くすのきホール にしよう。

4月3日(火)

今日は朝から気温が高い。天気は良いし、スーツを着ていると汗ばむほど。彼岸のころの雨と低温からすると、春を飛ばして初夏になったみたい。

今日は新年度2日目、昨日の忙しさが少しおさまって落ち着いてきた感じがする。昨日は辞令をたくさん渡した。配置換えの皆さんも多く、当分新しい職場へ配置されて慣れるまで大変だと思うが、元気に仕事をしている所を見るとかなり優秀な人材が揃っている、村も安泰だ。昨日同様、挨拶の訪問者が多い。本来は私が挨拶に行かないといけない人たちも、おいで頂いている。土木の皆さんには、金剛山トンネルをぜひ事業化できるように、バックアップをお願いした。

村長の日記

4月4日（水）

URリンクージ訪問

村は過疎からの脱却を模索している。大阪唯一の過疎指定を受けた村が過疎から脱却できるか、周囲の観測は“絶対無理”。

私は100%無理とは思わない、少なくとも数%の可能性はあると思う。当座の目標は人口増1000人、税収増3億円、これを実行できれば過疎から這い上げられる。

条件は、

- * 村内道路網の再構築
- * 府内道路網とのアクセス、京奈和道路へのアクセス改善
- * LRTの村への敷設

この3点が過疎から脱却の条件だ。知恵を貸してほしい。

町村議会の在り方、総務省2案(2日付の日経新聞25面より)

人口減で町村議会議員のなり手がいない。総務省 町村議会のあり方に関する研究会（座長 小田切徳美 明治大教授）が新しい2つの議会を提言した。

1. 集中専門型

メンバー：専業で少数精鋭の議員と素人で議会参画員。

狙い： プロの議員として首長並みの働きを求める。議員が少なくなる分、住民から選んだ議会参画員が広い民意を反映。

報酬： 議員は生活を保障する高収入、議会参画員は日当。

条件： 議員は兼職禁止などの制限を維持。議会参画員は裁判員と同じく、くじ等で選ぶ。

議会運営：平日昼間中心。

2. 多数参画型

メンバー：掛け持ちの兼業議員で数は多く。

狙い： 議員の権限、負担を減らし、本業を持つ住民も議員になりやすくする。他の自治体の公務員も掛け持ちできる。

村長の日記

報酬： 副収入程度。

条件： 本業との公正さを保つ為、契約や財産処分は議決できない。

議会運営： 夜間や休日中心。

4月5日（木）

千早小吹台小学校入学式

今年の新入生は33人、非常に少ない。住民の平均年齢が85才とすると、この子たちが80歳近くなった時の村の人口が2,800人となる。少なくとも60人近くいないと、村の人口は維持できない。ゆゆしき問題だ。若い人たちに村へ住んでもらわないと、村がなくなる。ぜひ、多くの人たちに住んでいただくには、どうすればいいのか？

午後

中学校入学式

午前の入学式と違って入学生も元気だ。やはり6年間の教育はすごい。6年間もすると子供は体も心も大きくなることがよくわかる。この子たちが中学校を卒業するときには、せめて60人くらいには増えてほしい。

18:00

国保診療所 新鞍先生 歓迎食事会

議会の先生も副議長以外の先生が参加してもらった。前任の川妻先生はドクターととしては良い先生で、私の嫁の命を助けていただいた。手遅れになると危ないところだったが、川妻先生のお蔭で毎日元気にやっている。

今回就任していただいた新鞍先生は、非常に気さくな先生。酒を上手に飲むし、話も弾む。ぜひ村の皆さんを元気で健康寿命をのばしていただきたい。

村長の日記

4月10日（火）

8:00

楠公誕生地の前に河内長野市島田市長、高石市坂口市長、私の3人が揃って楠公さんNHK大河ドラマ誘致協議会のビデオ製作開始。

撮影隊は河内長野市の職員、ビデオ監督はまさにプロ並み、いい職員を河内長野市はお持ちだ。

大久保利通建立の石碑、誕生地を訪れた皇族方御手植えの楠の前で撮影開始。役者のようなノリの良い2人の前で、カンニングペーパーを見ながら挨拶。ぜひ大河ドラマで楠公さんを取り上げてほしいと挨拶をした。

9:00

楠比庵（楠公さんの妻 久子墓所）着。富田林市多田市長現る。楠木氏親子を支えた、建武の忠孝陰の立役者の説明を頂いた。

10:00

観心寺高島住職の、楠公さんへの説明を聞く。やはり菩提寺の住職、説得力ある話。彼は明日、NHKへの要望活動に参加してくれる。

11:30

四條畷神社着。大阪府で1番若い首長、東君と、新しく着任した四條畷神社の宮司さんとの撮影。元外務官僚の市長は元気一杯、ビデオ映りは非常に良さそう。

昼食後

島本町へ。山田町長彼は町村長の中で一番若い。島本町のゆるキャラと共に“北国街道”沿いの 桜井の駅 の説明をしてくれた。

あとは今日の予定の最終神戸市の湊川神社へ。

山門前でビデオ撮影を行ったが、車の往来が激しく音が取りづらいので境内へ。ビデオ撮りの後、来月湊川神社で行われる「時代行列実行委員会」の席へ。三人でNHK要望の応援をお願いした。

楠公さんゆかりの地を一日で回ったのだが、四條畷神社、桜井の駅 共に整備が行き届いており、親子別れの石像、母が子をいさめる石像、楠公さんの史跡であることがいかにすばらしい事かを物語っている。

村も楠公誕生の地として、皆さんに理解していただきやすいモニュメントが必要だと思うとともに、従来からある 寄手塚、味方塚、千早城、上赤坂城、下赤坂城、他もろもろの遺跡を前に出す必要を感じた。

村長の日記

4月11日（水）

8:00

皇居外苑 楠公像の前に全員集合。今朝は坂口市長もスーツ姿、日比谷の楠公像はすごくデカイ。

高村光雲作。日本の中心皇居の周囲には、楠公像以外の銅像は無い。楠公像制作に際しては馬を解剖し、筋肉の状況を調査したうえで馬体を造形したと聞いた、大きくすばらしい銅像。

私たちは八時少し前に到着したが、観光バスで駐車場へ到着した外国人観光客が楠公像の前後を通り、皇居、二重橋の方向へ移動して行く。バスの駐車場は既に三〇台ほど駐車している。皆さんが楠公像を見上げながら通り過ぎて行く。何団体かは添乗員に説明を受けているが、残念なのは銅像の周囲に日本語の説明盤はあるが、外国語の説明はない。この人たちに理解できる説明がほしい。

8時過ぎ撮影開始。楠公像の写真家、広田雄介氏も写真を持って参加。彼には5月25日から観心寺で展示される未発表の写真を見せてもらった。すごい、やはり写真家は私たちと違う人種だ。

ビデオ撮影が始まってすぐ、ノリの良い人が外国人の女性と次から次へとハグをしながら現れた。大阪観光局長 溝端さん、外国語も堪能、日本人離れた動きは大阪を代表する国際人。ブラジルのおばさんと写真を撮ってビデオ撮影終了。

フォーリンプレスセンターへ。赤阪理事長へ2月の村立中学校講演のお礼とインバウンドのバックアップをお願い。文科省へお礼の訪問、後、第1議員会館佐藤先生訪問。昼食後スポーツ庁、文化庁、訪問。

PM2時過ぎ、道全協（道路整備促進期成同盟会全国協議会）の事務所を借りて、昭和10年に作られた楠公さん時代の着物(湊川神社所蔵)に着替えNHKへ。合流した観心寺の住職と共に幹部の皆さんへ「楠木正成、大河ドラマ化」を要請した。

「楠公さんの伝統的な武士で無い部分に惹かれる、これから検討させていただきたい。」との答えを頂いた。

記者会見を行い新幹線へ、11時過ぎ帰宅。

4月17日（火）

14:00

大河ドラマ誘致協議会（河内長野市民交流センター KICCS）

現在、協議会参加市町村は22、首長出席者は岸和田、富田林、東大阪、高石、河内長野、島本、熊取、河南、千早赤阪、代理出席は神戸、

村長の日記

堀、和泉、藤井寺、四條畷、大東、松原、寝屋川、貝塚、泉佐野。

島田市長の話、

河内長野、富田林、千早赤阪、四條畷、島本、神戸の連合で日本遺産を取るつもりだったが取れなかった。しかし、楠公さんへの思いは捨てがたく、NHKの大河ドラマでぜひ取り上げてほしい。江戸後期から戦前にかけての楠公ブームを今一度おこしたい。楠公さん大河ドラマへのラブコールを熱心に話した。

野田市長より： 時間目標と数値目標を明確に。

多田市長より： 楠公ファミリーを一体としてアピール。

発言があり、一段と誘致ムードが上がってきた。

会長は河内長野市長、副会長は富田林、千早赤阪と決定、NHKへの働きかけを積極的に行うことになった。

協議会の取り組みは

1. 楠木正成、正行など、楠公ファミリーに関する資料収集、生誕から死没までの生涯と楠公さんに関する全て。
2. 啓発活動、専用ホームページによる啓発とNHKに対し大河ドラマ化の働きかけ。
3. 誘致署名活動、紙媒体および電子署名。
4. 大河ドラマ関係機関と総合調整。

本日成立した協議会は、出来るだけ多くの自治体へ参加を求めるとともに、(仮)楠公ツーリズム推進協議会 へ参画するとともに、大河ドラマ誘致で協力する。

(仮)楠公ツーリズム推進協議会

楠公さんをキーワードに、社寺・関係団体とネットワークを構築する民間団体。

4月19日(木)

水道会計の会計検査院検査

今日の会検は、村の水道を大阪府水道企業団に移管する前の会検。本来は村で受けるのが筋かもしれないが、水道企業団が会検を受けてくれる。ご苦労さん。しかし水道企業団に引き継ぐときに清算済みであり、全然問題はないと思うので問題はないはず。府の水道部から西

村長の日記

浦君が同席してもらうので安心だ。

午後

楠公さんを学ぶ講座

講師：杉本秀雄さん 91歳、河南町寛弘寺在住。

富士車両株式会社定年退社後、楠木正成公研究をはじめ、現在に至る。

著書には「楠公さんを忘れないで」（平成26年）、「寛弘寺と河内を物語る」（平成28年）、「河内が生んだ名将楠木正成公を語る」（平成29年）。

私はすでに何回か杉本氏の話聞いた。高齢にもかかわらず元気だし、言語明瞭でわかりやすい。30年に及ぶ杉本氏研究の集大成は、楠公ファンのみならず、どなたが聞いても面白い。

開会のあいさつで

大阪の南端にある千早赤阪村で生まれた楠公さんの銅像だけが、皇居の前、玄関口の日比谷にある。私は上京するたびに皇居1周の歩きをしているが、皇居の周囲には、銅像、石造の類は楠公さん乗馬姿の像しかない。大正元年、高村光雲の手によって制作された。楠公誕生地の石柱は伊東博文によって建設された。そばに昭和天皇が皇太子の時代お手植えされた楠、皇族方がお手植えの楠が数本大きくなっている。楠公さんと皇室がかなり近い関係だったことはよくわかる。

私は今月の10日に楠公誕生地、楠比庵、観心寺、四条畷神社、桜井の駅、湊川神社をビデオ撮影で回りました。翌日、日比谷の楠公像からNHKへ回って、大河ドラマとり上げをお願いしたところですが、その途上一番気にかかったのは生まれた村の楠公史跡が一番粗末だったことです。大楠公を世に出すには、まず村の史跡保全と再構築、大々的なPRが大切だと感じました。

4月22日（金）

4月なのに五月晴れ、気温は25度を超えている。

13:00

村民グラウンドは老人会のグラウンドゴルフ大会。皆さんの熱気でかなり暑い。雲1つない空の下で100人を超える皆さんが大会開始を待っている。

村長の日記

暑い中ご苦労さんです。皆さんの様子を見ると、老人会とは思えません、中年の団体と思えます。暑い中で運動し、風呂に入って冷たいビールを飲む、これに勝る人生はありません。人間は昔、どこへ行くにも歩いていました。歩いて運動することで、人は寿命と健康寿命の差がなくなります。元気で長生きのために、毎日運動してください。

皆さんに挨拶をして始球式。グランドゴルフのクラブを借り、球を打つ。距離はぴったりだったが、方向が1mばかり狂った。練習が大切。今日はノーマイカーデイ。朝は千早大橋からバスで役所へ。客は私と村の女性、登山客の女性の3人。役所で私が降りた後、2人の客でバスは行く。夜、ミナミへ行くので16時25分のカタロ前発富田林行きで街へ。

西楽寺前と神山で1人ずつ乗車、金剛大橋前で2人下車、富田林まで乗ったのは私1人。住民にもっとバスを使ってほしい。

18:30

会食(道頓堀)

メンバーは大阪府信用保証協会理事長、前堺市副市長、前大阪狭山市長、前公安刑事さん他の皆さんと、半年振りの会食。話題の中心はフィリピンの話。保険組織のないフィリピンでは、救急車で運ばれてもお金がない人は診察拒否される。また、救急車も有料との話。日本は恵まれすぎ。前大阪狭山市長はフィリピンに住居を構え、日本の古い衣料品の配布をしたり、住居近くの学校へノートの配布、筆記用具の配布をしている。話の内容から推察すると、私たちに日本より60~70年遅れている感じ。

4月22日(日)

16:00

千早神社氏子総代会

昨年の役員会改正で決まった20人で開催。

29年度は責任役員皆さんの努力で、剰余金が80万円+の成績を上げることが出来た。落ちない米、根付 他、お守りグッズの成績が良かった。神社再建費用の積み立ては100年以上掛かる予定だが、少しでも運営費用で剰余金が作れたことは、私が総代をさせていただいて初めてのことだ。千早城が日本100名城に指定されたこと、産経新聞が大楠公をPRしてくれたことが、神社の運営をいい方向へ押し出してくれた。うまく追い風に乗るのが大事。

村長の日記

4月25日（水）

10:00

楠公祭

昨日までの晴天と打って変わって、昨夜半から雨、少し小降りになって開会。大阪神社庁第11支部、一般社団法人 楠公史跡保存会 主催による楠公祭が、厳かに行われた。今回は浪速学園理事長、道明寺天満宮南坊城氏、田辺市副市長、中辺路行政局長 他、沢山の皆さん参列のもと行われた。小雨の中、神事、お神楽 が無事終わり、詩吟、楠公さんの歌 が披露された。元富田林J C理事長小寺氏 元気に歌っていただき、感激した。楠公さんの歌は「青葉茂れる桜井の」しか知らなかった私にとって青天の霹靂。しかも小寺氏が歌っているCDも出していることを知って、楠公さんを崇拝する人たちの輪が徐々に広がりつつあることが確信に変わった。

千早神社への参拝客が徐々に増えていること、お賽銭が少しずつ増えていることで、“楠公ファン”が増えていると思っていたが、本当に増えつつあると思う。平成18年の「公を忘れた日本人」(産経新聞の年間シリーズ)の効果が非常に大きい。ここ2~3年でブームになりそうだ。

保育園の幼児が「青葉茂れる桜井の」を歌った。この子たちが育ったころには、大楠公は間違い無く河内の英雄になっている。

4月26日（木）

関西広域連合協議会

会場に着くと、いつも来ているメンバーが見当たらない。

地方団体代表は、近畿府県町村会会長の私と、近畿府県市議会議長会代表(城陽市議会議長)の2人、後の4人は欠席となっている。

今日はあらかじめ提出した委員意見書の発表、それに対する知事・政令指定市長の考え方スピーチがメイン。

連合長の兵庫県知事は「広域連合は代表を直接選挙で選出出来ればいいが、それははるか先の話。まず府県、市町村の壁を越えて、広域で出来ることを1つ1つやって行くことが現在の状況。」

多くの人達の意見発表の中で1番心に残ったのは。

1. 超高速鉄道であるリニアに高速鉄道を組み合わせる必要がある。高速道路では低速小容量なのでリニアの機能を損なう。
2. 国際空港にも高速鉄道網を組み合わせる必要がある。

村長の日記

3. 現行の高速鉄道網では新大阪がハブになっている。新大阪を平面的にも垂直的にも、拡大が必要。現状ではすべての広域公共交通網とのアクセスを収容できない。
4. 新大阪を過信するな、構想実現時には全国的な広域交通の要衝になる。天災、人災による新大阪の機能不全は西日本全体の機能不全に発展する。適切なサブターミナルと、バイパス的経路の計画が必要。
5. 関西が西の『顔』になるためには、西日本全体間の高速移動手段の早期完成が必要。高速道路は低速移動手段であり、天災を考えると、港湾、河川は注意が必要。
6. 人口が少ない地域への、配慮システムが必要。人口で議員・首長を選出すれば、人口が多い地域が一人勝ち。人口の少ない地域に大きな配慮を。

4月27日（金）

地方6団体による、合区の早期解消促進大会

全国知事会	全国都道府県議会議長会
全国市長会	全国市議会議長会
全国町村会	全国町村議会議長会

大会アピール

日本国憲法が施行されて以来、2院制をとる我が国において参議院は一貫して都道府県単位で代表を選出し、地方の声を国政に届ける役割を果たしてきたが、平成28年7月に憲政史上初の合区による選挙が実施された。

その結果、投票率の低下、直接候補者と接する機会の減少、自県を代表する議員が出せないなどの、合区を起因とした弊害が顕在化した。我が国が直面する急激な人口減少問題を初め、この国の在りかたを考えていく上でも、多様な地方の意見が国政の中でしっかりと反映される必要があり、都道府県ごとに集約された意思が参議院を通じて国政に届けられなくなることは非常に問題で、地方創生にも逆行するものである。

本日我々はここに、次期参議院選挙に於いて合区による選挙が再び行われることが無いよう、早急に合区を解消し、都道府県単位による代表が国政に参加できる選挙制度とすることを強く求める。

村長の日記

平成30年4月27日

地方自治確立対策協議会(地方6団体)

大会アピールを決議して閉会

4月28日(土)

10:00

戦没者慰霊祭 (いきいきサロンくすのき)

今日は遺族会による戦没者慰霊祭、ほぼ50人が参列している。例年のごとく、しめやかに行われた。

今の千早赤阪村があるのは、国のため犠牲になっていただいた168柱の皆さんのおかげ。私たちの村は過疎指定を受けたが、過疎からの脱却を目指し努力している。皆さんのお力に報いるよう村は頑張っております、是非お力をお与えください。と挨拶した。

村を元気にするには、やはり楠公さんが大切。楠公さんについて考えてみた。

日本の中心はどこか？ 霞が関、皇居、首相官邸？

戦前は皇居であった。現在でも、やはり日本の中心は皇居だ。皇居前広場に行くと多くの外国人が二重橋に向かって、日比谷のバス駐車場から歩いて行く。ガードマンに聞くと、1日に数百台は来る。歩き始めるとすぐに大楠公の銅像がある。ほとんどの団体は大楠公を見上げて、皇居の前にある銅像だから「日本の有名な武将」だと話している。日本語の説明はあるが、せめて英語の説明は欲しい。

私は上京すると、雨の日以外皇居を歩いて1周する。皇居の周囲には大楠公以外の銅像がない。大阪の片田舎「千早赤阪に生まれた大楠公の銅像が日本のど真ん中にただ1つある」。

楠公誕生地の石塔は大隈重信が建設した。周囲に、昭和天皇が皇太子時代お手植えになった楠がある。数本の楠はすべて皇族方お手植えの楠だ。大楠公と皇室は非常に近い存在だった。千早城址にある千早神社も戦前は参拝者が多く、宮司が常駐していた。昭和20年以降、参拝者がなくなりさびれていたが、近年参拝客が増加に転じた。これからは「戦意高揚」ではなく、「大楠公・楠公ファミリーの生き方」を皆さんに知らせることが、新しい年号を迎える国の方向を決めるとともに、村の将来を決めるマイルストーンになる。